

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史

那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階

沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20210607

22期 No.2

《部内資料》

五輪中止を緊急要請しました

医療、介護、福祉の現場から、命を大切にする社会を求める立場から 2021 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を中止することを求める緊急声明を送付、5月31日県庁記者クラブで記者会見を行いました(裏面参照)

**五輪中止して
コロナ対策を
県社会保障推進協が声明**
県社会保障推進協議会
(新垣安男会長)は31日、
県庁で会見を開き、東京五輪・パラリンピックを中止し、新型コロナウイルスの感染収束に全力で取り組むよう求める声明を発表した。会見した大城郁男副会長は「優先するのは命か、五輪開催かが問われている状況だ」と訴えた。

声明では、政府が五輪開催ありきで準備を進める一方、新型コロナウイルスの感染収束に向けた医療体制の構築

や、民間への補償と生活支援が後手に回っていると指摘。医療スタッフの五輪への派遣も要請されるが、対応できる余力がないとしている。



五輪開催が感染収束の機運を引き延ばすことになるとして、中止してワクチン接種や医療体制拡充に全力を集中するよう、政府に求めている。声明文は首相や五輪担当大臣などに同日、送付した。

会見には県医労連の眞榮城玄次副執行委員長や県保険医協会の西銘耕史さんも出席。県内自治体のワクチン接種も具体的な方策が見えず現場が混乱し続けていることや、使命感で働く看護師らの離職が増える危機感など、収束が長引くほど医療態勢が厳しくなっていく現状を訴えた。

2021
6.2
琉球新報